

登録コード	E9111306	開講年度	2026					
授業科目	心理支援演習　G						担当教員	向井　秀文
英文授業名	Seminar in Psychological Support II G						副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					臨床心理学的援助の方法論について学び、それを現場で応用していく力を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					臨床心理学における理論と実践の相互作用の重要性について学び、心理的な課題の治療プロセスについての理解を深める		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	臨床心理学に関する研究計画の作成方法について学び、発表や議論を通して理解を深める							
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：学術論文の書き方（問題と目的） 第 3 回：学術論文の書き方（方法） 第 4 回：学術論文の書き方（結果） 第 5 回：学術論文の書き方（考察） 第 6 回：論文検索の方法 第 7 回：論文の読み方 第 8 回：分析手法の紹介（媒介効果の検討） 第 9 回：分析手法の紹介（調整効果の検討） 第10回：分析手法の紹介（共分散構造分析） 第11回：分析手法の紹介（効果量の算出） 第12回：プレゼンテーションの方法（全体の構成について） 第13回：プレゼンテーションの方法（わかりやすくまとめるための方法） 第14回：プレゼンテーションの方法（わかりやすく伝えるための方法） ＊研究計画については都度発表してもらう ＊教育実習における欠席分の補講について：適宜個別に対応する ＊授業最終回に授業アンケートを実施する							
(6)成績評価の方法	○ディスカッションや発表への取り組みに際して、授業の達成目標として掲げている観点を基準として評価する ・発表：50%、ディスカッション：50% ○得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上　秀, 89-80%　優, 79-70%　良, 69-60%　可, 59%以下　不可							
(7)成績評価の基準	発表やディスカッションへの取り組みにおいて、総合的に評価割合が6割以上であれば「水準にある」, 7割以上であれば「やや上にある」, 8割以上であれば「かなり上にある」, 9割以上であれば「卓越している」と判断する							
(8)事前事後学習の内容	・ 関心のある研究テーマに関する情報を収集する ・ 自分が何を研究したいかを考える ・ 自分の考えをアウトプットする ・ 授業での議論を振り返ってさらに研究テーマを再構築していく							
(9)履修上の注意	・ 積極的にディスカッションを行うこと							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	向井秀文（研究室：E405） e-mail：mukaih@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない							
【参考文献】	適宜紹介する							